

## 羽根谷砂防堰堤（第一堰堤）とは

羽根谷砂防堰堤（第一堰堤）は、岐阜県海津市を流れる羽根谷に築造された砂防堰堤で、幅 52 メートル・高さ 12 メートルの規模を持ち、自然石を積み上げる「空石積（からいしづみ）」工法で構成されています。

この堰堤は、オランダ人技師ヨハネス・デ・レーケの「川を治めるには、山をまず治めるべし」という考えのもと、1887（明治 20）年 4 月 1 日に着工され、翌年 1888（明治 21）年 12 月 20 日に竣工されました。完成から 1 世紀以上が経過した現在も、幾度となく発生したであろう土石流に耐え、その原形を保ち、今なお十分に機能を発揮し続けています。

また、1997（平成 9）年 9 月 3 日には文化庁により登録有形文化財に登録され、砂防堰堤としては全国で 3 番目の登録例となりました。さらに、2009（平成 21）年 2 月 23 日には経済産業省より地域活性化に資する近代化産業遺産にも認定されています。



羽根谷砂防堰堤（第一堰堤）

